

特集

身体拘束から考える
基礎教育と臨床の関係慣習を変えていく研究と教育 酒井郁子
看護師の変遷する拘束像

——学生から新人看護師、指導的立場へ 中野真理子

【座談会】学生たちの体験した身体抑制 中野真理子他

松沢病院精神科での実習 廣川聖子

「人が足りないから拘束する」への問いかけ

——聖路加国際大学 HELP の取り組み 亀井智子

【連載】

看護に恋した哲学者と読む ベナーがわかる！腑に落ちる！・2

榊原哲也

ティーチング・ポートフォリオ作成講座・3 吉田墨・栗田佳代子

NとEとLGBTQ・3 藤井ひろみ

つくって発見！ 美術解剖学の魅力・6 阿久津裕彦

キネステティック・クラシック・ネオ 動きの言語化のツールが可能に
すること・6(最終回) 中本里美

授業を良くする！ 教育関連理論・8 西野毅朗

専門家と市民の架け橋 CoSTEP・12(最終回) 種村剛

編集後記

●「さあ、ゲームを始めましょう！」アニメやマンガで悪の黒幕がよく使う台詞です。ここには「ゲーム＝遊び＝本気ではない＝俺、余裕」というメッセージが隠されています。ゲームを好ましく思わない人は、基本的にはこの黒幕と同じメッセージをその言葉から感じ取っているのではないのでしょうか。しかし、「ゲーム＝遊び」だとしても「本気ではない」とは限らないはず。本来はどんなゲームであれ、本気で取り組むほど楽しいものですから、それを教育・学習に取り入れることに、なんの躊躇もいらないのではないのでしょうか。●楽しく学ぶためにシリアスゲームなどを取り入れるだけでなく、藤川先生や福山先生のお原稿にある「ゲーミフィケーション」という考え方を教育に導入すれば、学びにより強い動機づけを生み出すことができます。現在行っている授業をゲーミフィケーションして、学生が少しでも主体的に学ぶスタイルを取り入れてみていただきたいと思います。

……大野
●榊原哲也先生の新連載「看護に恋した哲学者と読む ベナーがわかる！腑に落ちる」が始まりました。榊原先生は、教務主任養成講習会やさまざまな看護系学会でもご講演が多く、すでにご存じの方も多くいらっしゃると思います。私も、そうした会や東京大学で開催されている「現象学的人間論と看護」の読書会などに時折お邪魔し、楽しい時間を過ごしています。●読書会で印象的なのが、ベナーのテキストの精密な読解から、看護の先生方が連鎖的に患者さんとの、また学生とのかわりを想起され、共有され、共感やときには笑いも起きる様子、そしてその看護の語りを本当にうれしそうに伺っている榊原先生の表情です。今回の連載がみなさんのあの表情が伝わってくるようなものになることを期待しています。

……番匠

◎編集室ツイッター
<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第59巻 第5号 2018年5月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2018年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、電子版／個人15,540円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・南部

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/18/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.59 No.4

2018 年 4 月

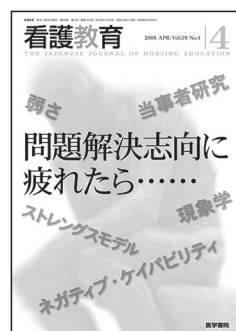
特集

問題解決志向に疲れたら……

1980 年以降、看護は問題解決思考を基盤にした看護過程によって大きく発展を遂げてきました。問題解決能力の向上とは、迅速な判断、高度な専門性、強い思考力を求めるものです。確かに、科学の進展とは、こうした側面ももつでしょう。そして看護には、問題解決を優先する、問題解決志向と呼べる文化が醸成されてきました。しかし、特に近年、精神科看護や慢性期看護など、疾患をかえりなく生じていく患者を支える領域から、ネガティブ・ケイパビリティ、ストレングスモデル、当事者研究など、問題解決だけではとらえきれないケアの諸相が描かれるようになっていきます。そうしたケアは、看護師などの医療者が、患者の問題を解決しようとする前提となる発想自体への深い問いかけが秘められています。また、問題解決志向は、教育においては、学生の課題やできていない点に気がつきやすく、教育効果を急ぎに求め、学生を管理して導こうとする発想につながります。しかし、みなさまも、学生時代に成績が芳しくなかった学生が、卒後、臨床現場で活躍されている例もご存知ではないでしょうか。教育には、学校で花開かなくとも、そうした可能性の種を育む役割もあるはずなのです。

今後も、看護教育において、問題解決能力の育成は重要なテーマであり続けるでしょう。しかし問題解決志向が強くなりすぎると、みなさまも、学生も、患者もきっと疲れてしまうのではないのでしょうか。本特集でご紹介する、問題解決志向ではないケア、また医療者のあり方が、今後のみなさんにとって何かのヒントとなれば幸いです。

- 弱い教員からのもの語り
学生と同じく、弱さを抱えた私……清水隆裕
看護教員のあり方への危機……入江拓
- 【インタビュー】答えの出ない事態に耐える力：ネガティブ・ケイパビリティが支えるもの——帚木蓬生先生に聞く
- 【インタビュー】教育のパターンリズムへの問い——当事者研究から——向谷地生良先生に聞く
- 当事者に聞く姿勢を伝える——
ストレングス・マッピングシートを活用した演習……萱間真美
- 【対談】「弱さ」の教育学のために——現象学がみつめること……守屋淳／西村ユミ



Vol.59 No.3

2018 年 3 月

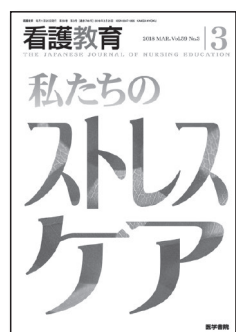
特集

私たちのストレスケア

学校現場は、今更ながら「ブラック職場」であるといわれ始めているように、教員はストレッサーが多い職業です。看護師も一時期は「3K、4K」といわれ、ストレスが多いことは知られています。どちらの職業も、ミッション遂行にきわめてまじめに取り組み、かついまだ減私奉公的な考えをもつ人が少なくないことから、ストレスが原因でメンタルヘルスを害してしまうケースは珍しくありません。そんな「教員」と「看護師」双方の面をもつ「看護教員」がストレスケアが必要になる機会が多いのは、当然といえます。ストレスケアの多い教員、看護師のストレスケアについての調査・研究は多く、さまざまな場で発表もされてきました。しかし、看護教員のストレスケアについては、なぜかほとんど取り上げられてきません。つまりは、ケア自体は本人任せであったといえるでしょう。自主的な対応はもちろん大事ですが、ストレスケアには、組織的な対応が必ず求められます。今回の特集は、看護教員が抱えるストレス源をあらためて浮き彫りにし、ストレスケアの仕方を、個人にできることと組織で行うべきことの双方から提案しようというものです。

自分自身および学校や大学の仲間のメンタルを守るためにも、1人ひとりができることから始め、周りにはたらきかけてみてください。

- 職業的アイデンティティと職業性ストレス——看護教員のメンタルヘルス対策に向けて……福永ひとみ
- 「ストレス自慢」をやめて「ストレスフリーの場」をつくりませんか——教育職場のストレス構造とその軽減方法に関する考察……筒井美紀
- さまざまな形で教員へのメンタルサポート……椋田容世
- ストレスはつきもの——自らの限界を知り、載せ過ぎた「荷物」をおろそう……宮子あずさ
- 研究教育機関におけるアカデミック・ハラスメントを考える——学びやすく、働きやすい教育現場をつくるために……湯川やよい



[2018 年 2 月号 (Vol.59 No.2)]

VR で未来を変える

[2017 年 11 月号 (Vol.58 No.11)]

ティーチング・ポートフォリオ
で得られること

[2018 年 1 月号 (Vol.59 No.1)]

インストラクショナル
デザインを活かす

[2017 年 10 月号 (Vol.58 No.10)]

実践的思考力を育む

[2017 年 12 月号 (Vol.58 No.12)]

省察的実践者を育む
シヨーンからの提起とともに

[2017 年 9 月号 (Vol.58 No.9)]

学生とつくる授業
学生がつくる授業

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2016 年 3 月号 (Vol. 57, No. 3) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2016 年 4 月号 (Vol. 57, No. 4) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願ひします。